

海洋科学技術センター研修報告書

平成12年10月9日(月)

6日目

時 間	訓練項目	訓練内容	使用資器材	備 考
1 時限 08:00 ~ 08:50				
2 時限 09:00 ~ 09:50	潜水装備品	点検の期間 点検記録の保管 潜水機材の取り扱い メンテナンス等	研修テキスト P 8 2 , P 8 3	
3 時限 10:00 ~ 10:50	同上			
4 時限 11:00 ~ 11:50	潜水計画	潜水時間 ボンベ圧に対する 潜水時間	潜水時間の計 算問題	プリント 3 枚配 布
5 時限 13:00 ~ 13:50	ロープワーク	各種潜水に関係が ある結索法	3 mロープで 練習	プールサイドで 実施
6 時限 14:00 ~ 14:50	スノーケリング	岸壁からの入水法 海域での水面泳法	3点セット	センター横の海 域で実施
7 時限 15:00 ~ 15:50	同上			
8 時限 16:00 ~ 16:50	スクーバ潜水	ロープ展張法	ハーネスボン ベとロープ使 用	4 班に分かれて 実施
9 時限 17:00 ~ 17:50	同上			

研修レポート 6日目

2時限(座学)

- ・ 設備等の点検及び修理 研修テキストP82, P83

- ・ 点検の期間および点検記録の保管について

事業者は、潜水業務を行うときは、潜水者に、次の各号に掲げる潜水業務に応じて、それぞれ各号に掲げる潜水器具を点検し、潜水作業に危険又は健康障害の生ずるおそれがあると認めるときは、修理その他必要な措置を講じなければならない。

第34条1項3号

潜水作業者に携行させたボンベからの給気を受けて行う潜水業務
潜水器及び第30条の圧力調整期(レギュレーター)

2項2号

ボンベからの給気を受けてから行う潜水業務

イ 水深計 1月

ロ 水中時計 3月

ハ 流量計 6月

3項

事業者は、規定により点検を行い、又修理その他必要な措置を講じたときは、そのつど、その概要を記録して、これらを3年間保存しなければならない。

この規則は、事業者は、スクバー潜水で業務させる場合には、決められた潜水資器材について1定期間内に点検し、異常が認められたら修理し、その記録を3年間保存しなければならない。

- ・ マスクのシリコンゴム部分は、蛍光灯などの紫外線や乾燥したところは嫌うため、シリコン用オイルを塗り日の当たらない所で保管する。
(オイルはレンズにつくと曇る原因になるので、整備には注意する。)



シリコン用オイルを塗布

- ・ 口にする資器材は、よく洗浄をする。
- ・ スーツ等の保管は、ハンガー等にかけて乾燥させる。
（しわができるとスクイズの原因になる）
- ・ マスクやフィンのストラップは、長時間使用しないときは外して保管する。
- ・ スーツの破れは、自分で修理する。（業者に出すと3千円ぐらいかかるから）

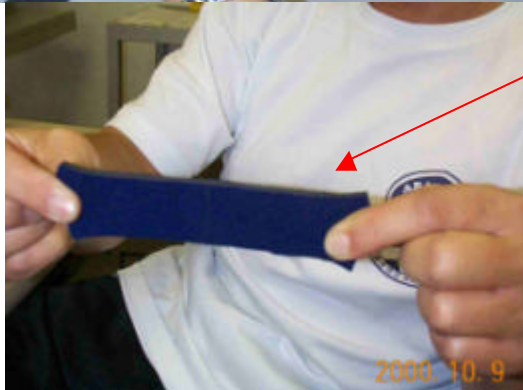


接着剤



薄く塗る
乾燥させる（手に付かなくなるまで）
3～4回実施

圧着するように接着し、24時間で概ね完全接着となる。



引っ張ってもはがれない。

- ・ 穴の空いた場所は、洗濯バサミを使用して行くと、修理しやすい。

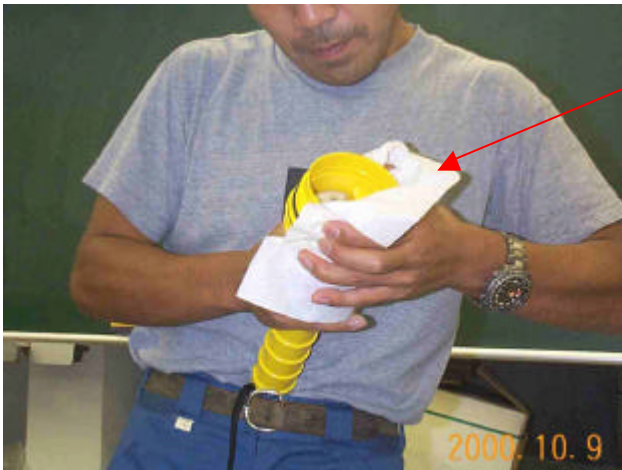


- ・ 頭巾は、頭頂部及び耳の部分に穴をあけて、使いやすいようにすると良い。

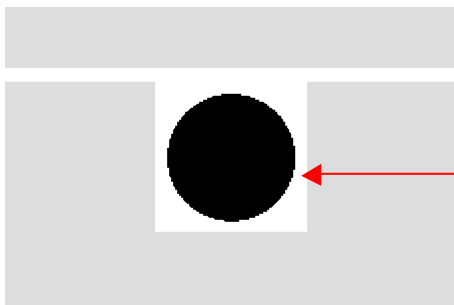


パンチで数カ所穴をあけると、耳がよく聞こえるようになる。

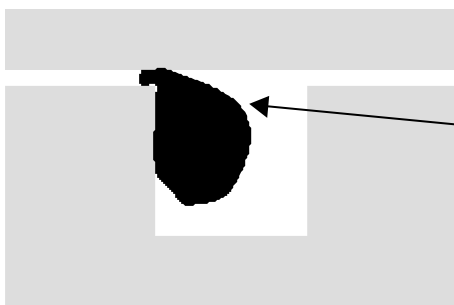
- ・ Oリングの清掃は、シリコンオイルとほこりの出ないペーパーを使用していくこと。



- ・ Oリングは、圧力がかかると変形して、密着を深め、水の浸入を防ぐ。

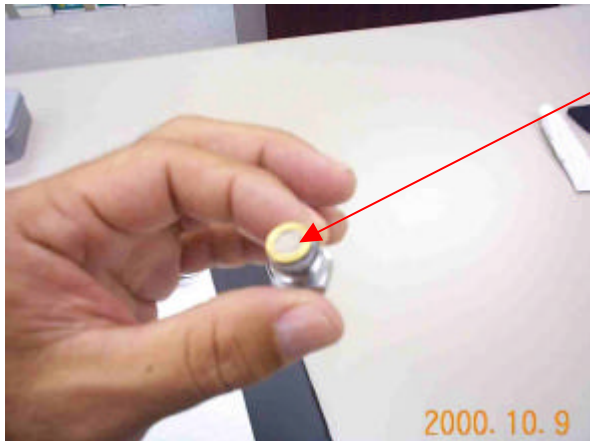


水圧がかかっていない状態
原型を保っている。

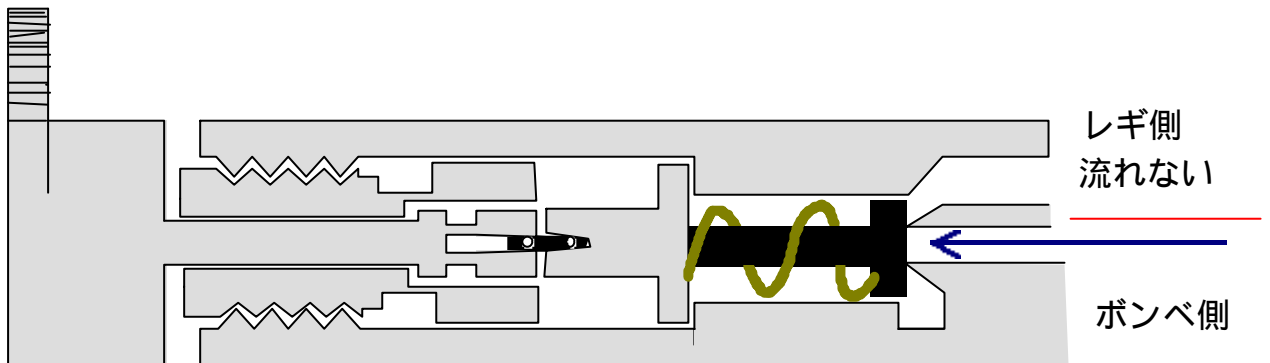


← 水圧
変形して、水の浸入を防ぐ。

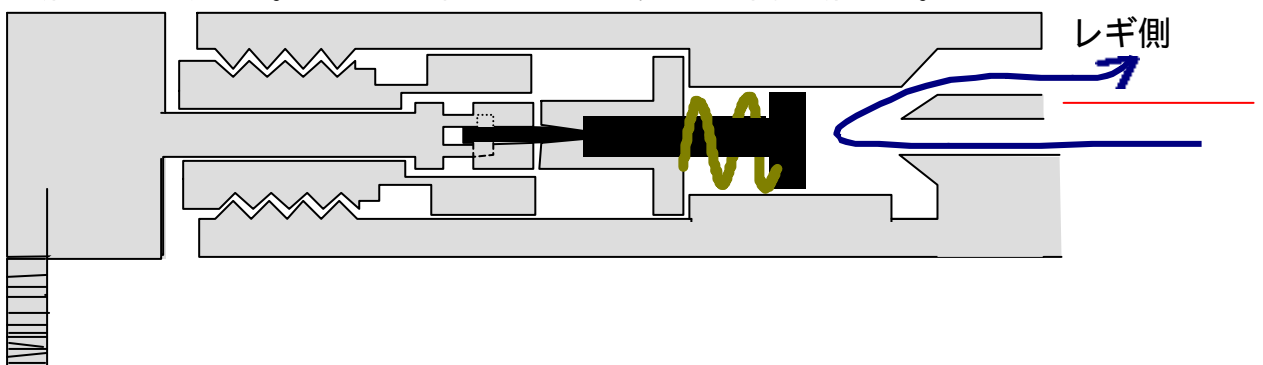
- ・ 内圧で使用されているOリングは大きめで、逆に、外圧の場合は小さめ。
- ・ ポンベバルブの安全栓には、穴があいていて、銀ロウが入っている。この銀ロウは、200度以上の状態になったら溶け出し、ポンベの爆発を防いでいる。



- ・ 潜水士テキストの間違い 潜水士テキストP118
 高圧ガス取締法ではなく、高圧ガス保安法
 ポンベの刻印は、引っ張り、衝撃、圧壊、気密はない
 空気ポンベの色は、灰色が半分以上あれがいい。
- ・ リザーブバルブとは、ポンベの圧力が約30 kg/cm²以下にした時、空気の供給を徐々に停止させ、残りの空気が少ないことを知らせる装置である。



リザーブバルブが閉じた状態。バルブが30 kg/cm²の力で、押さえられているのでポンベ側からからの圧力が30 kg/cm²以下になるとレギュレーター側に空気が流入しなくなる。バルブを開けると空気がレギ側に流れる。



- ・ KバルブからJバルブに変更する場合は、耐圧検査の時にできる。
- ・ ボンベ耐圧点検に出す時は、業者に、付属品も一緒に行く旨を言う。

3時限（座学）

潜水計画 プリント3枚配布

- ・ 潜水計画は、潜水業務時間とボンベ使用可能時間を計算して行う。
- ・ 別添に潜水時間の問題あり。
- ・ 自分の空気換気量を調べる。（普通潜水とスピードの早い時の潜水）

5時限（ロープワーク）

- ・ 本結び、一重つなぎ、2重つなぎ、もやい結び、アンカー結び（錨結び）
チェーンノット（シングル、ダブル）

6、7時限（スノーケリング）

- ・ 岸壁からの入水法（前×2、後ろ×2）
- ・ 海域での水面泳法（1.2kを45分）

8、9時限（スクーバ潜水）

- ・ 捜索時のロープ展張法訓練をプールで行った。23名を4班に編成
2人1組で実施。（15mロープを使用）



6日目終了